

平成24年度 議会評価結果表 (平成23年度決算事業)

区分	事務事業名	担当部署名	整理No	議会評価 (7段階評価)	評価理由、改善内容、提案事項等
11	観光振興事業	市民経済部 商工観光課	11-002	5 改善し継続する	入りを図る観点から、地域活性化のために観光資源を生かした観光振興は重要である。常時開館・開催している事業もなく、回遊性にも問題があるのでもっとPRをしなければならない。今後は観光協会のあり方も考えて、民間のノウハウを取り入れるなど多くの課題を改善していく必要がある。なお市民盆踊り大会は観光振興事業とはとても言えない。
12	中心市街地活性化推進事業	市民経済部 商工観光課	11-009	5 改善し継続する	地域活性化のために必要な事業であるが、半田市の示す中心市街地と市民目線からの中心市街地に隔たりがあるため、活性化事業として成り立っていない。駅前土地区画整理事業には280億円という莫大な投資をした事業で、市の責任は大きい。本来は行政が行うよりもタウンマネジメントのような組織体が行う方が効果的。また空き地の誘致方法などは、特別に優遇措置をするなどの改善の余地がある。
13	酪農振興事業	市民経済部 農務課	12-017	5 改善し継続する	臭気対策は半田市の大きな問題点であり、根本からの見直しが必要である。半田市全体として、広域的視野も含め今こそ行政が抜本的に対策を講じる必要がある。魅力あるまち、住んでみたいまち半田市として人口増加のためにも考える対策であり、そのためには事業に投入する予算を増額することや、組織の見直しを検討することが必要。特に臭気対策は環境課へ移管し、抜本的な事業改革が必要である。
14	ごみ減量対策事業	市民経済部 クリーンセンター	14-009	5 改善し継続する	ごみ減量は市民にとっても、半田市にとっても必要であることを、環境面と経費面から市民にしっかり理解を求める対策が必要。目標値をぎりぎりに設定しているが、本来はもっと大胆な目標値でもいいのではないかと。生ごみの減量、水切りの徹底、紙分別の強化、自治区未加入世帯へのゴミ捨てルールの徹底などや、3Rアドバイザーの569人が本当に機能すれば、まだまだ改善される。また、生ごみ減量の処理機及び堆肥化容器設置の補助金制度は、見直す時に来ているのではないかと。
15	排水設備等維持管理事業	水道部 下水道課	27-003	5 改善し継続する	市民ニーズがあり、市が行う妥当性が高いが、有効性と効率性には問題がある。受益者負担の観点から接続率を向上させるため、各未接続世帯の現状把握を正確にデータ化する必要がある。環境面と税収面の両方を考え、下水道課だけでなくクリーンセンターや収納課との連携が重要。